

佳作

## お父さん、特にありがとう

大阪府

寝屋川市立田井小学校 六年

本田 唯法

お父さんがおまわりさんだということをぼくが知ったのは、ぼくが二年生の時でした。

家族で遊園地に行った時、近くにいたお年寄りが気分が悪くなつて倒れてしまい、お父さんは救急車を呼んだり、お年寄りの脈を計つたりとてもテキパキしていたので、かっこいいなあと、お母さんに言つたら、お母さんから、お父さんは実はおまわりさんだから、こんな時はかっこいいねんで、と教えてもらい、ぼくはびつくりしました。お父さんは日曜日も仕事だと言つて出ていくし、家では仕事の話はしないので、正直なところ、まさか自分のお父さんがテレビドラマに出てくる刑事やパトカーに関係している仕事をしているとは全く思いませんでした。お父さんは朝はまだぼくと妹が寝ている時に仕事に行くし、帰りはいつも遅いです。だけど休みの日には、看護士さんをしているお母さんの代わりに、おいしい手料理を作つてくれます。その中でもハンバーグが得意料理で、公園でも妹と三人でサツカーをしてくれます。だけど、ぼくと妹が人に迷わくをかけたたり、あいさつをしないと怒られます。そんなお父さんが5月のゴールデンウィークが終わつたころ、ぼくを呼んで、「お父さんは、地震で大変な東北に行くから、ちゃんとお母さんの言う事をきいてなさい。たのむで。」と言いました。東北の地震のことはぼくもテレビに何回も映しだ

される津波を見ていたので知っていました。まっさきにはぼくが考えたのはまだ余震があるので、大丈夫？と言うと、お父さんは「大丈夫やで。東北は大変やからな。これをコクナンと言うんやで。」と言っていました。

それからお父さんは一ヶ月くらい東北の宮城県に行きました。その間、ぼくと妹はお母さんに怒られることもあったけど、せんとく物をたたんんだり、お使いをして家族で助け合いをしました。お父さんが東北に行っていることを、僕の担任の先生にも言つたところ、本田くんのお父さん、大変やねえ、えらいねえと言われてぼくも本当にお父さんは大変だけど、えらい人だなあと思いました。

一ヶ月くらいたつて、お父さんが帰ってきました。少しつかれた顔をしていましたが、お父さんは東北限定の牛タンのお茶づけを、おみやげに買ってきてくれました。ぼくと妹はお茶づけが大好物なので食べると、とてもおいしかったです。ぼくと妹がお茶づけを食べるのを見て、お父さんもうれしそうでした。

東北のコクナンだけではなく、日本のコクナンを助けに行つたばかりのお父さんは大変な仕事だつたと思います。だから、いつも父の日には、ありがとうと言っています。今回はこの作文で、次のありがとうを伝えたいと思います。

お父さん。特にありがとう。